

9/15

町民の健康増進へ向け「戦場ヶ原ハイキング（日光市）」を開催

境町スポーツ推進委員会では、54名の参加のもと栃木県日光市において、「戦場ヶ原ハイキング」を開催しました。この企画は、ハイキングを通して、町民の皆さんの健康増進と、さらなる体力の向上を目的とし、毎年実施されています。

当日は晴天に恵まれ、参加した方々は大自然の素晴らしさを満喫しながら楽しい一日を過ごしました。



大自然を満喫する参加者の皆さん



参加された皆さんでの集合写真

9/18

米生産農家を応援！令和元年境町産米を通常より高く買い取り

米の価格低迷に伴い、令和元年境町産米を通常の価格より高く買い取る「米農家支援事業」を実施しました。

買い取りは、先着1,000袋限定ということもあり、初日は、受付時間前から行列ができました。

この事業は、平成30年度、全国8位、4年連続茨城県内1位の寄付額となったふるさと納税の還元策として平成27年度より実施しており、今年で4回目の実施となります。買い取った米はふるさと納税の返礼品として使用されます。



役場特設会場での買い取り受付の様子

9/12

隈研吾氏設計「(仮称) S-Gallery」の起工式を開催

坂花町地内の建設予定地において、世界的建築家の隈研吾氏が設計を手がける町内4つ目の施設「(仮称) S-Gallery」の起工式を開催しました。この施設は、晩年を境町で過ごした日本画家、^{しゅくごん} 齋藤實（1902～94年）の作品を中心に、季節やテーマに応じた絵画など30～50点ほどを常設展示するギャラリーとして、国の地方創生推進交付金を活用して整備され、来年3月に完成予定です。



地鎮祭での鉄入れの様子。左から中和建設（株）中村代表取締役、橋本町長、隈研吾建築都市設計事務所行本氏



(仮称) S-Galleryの完成イメージ図

9/17

第3期境地区定住促進住宅の起工式を開催

住吉町地内アクアステーション前の建設予定地において、第3期境地区定住促進住宅の起工式を開催しました。これは、すでに完成し満室となっている「アイレットハウス モクセイ館」、「アイレットハウス カンナ館」に続く、第3弾となる子育て世帯等移住者向け地域優良賃貸住宅で、定住人口の増加や周辺地域の活性化が期待されています。建物はPFI方式による3階建て、全27戸の集合住宅で、来年3月に完成予定です。



地鎮祭での鉄入れの様子。左から（株）篠原工務店篠原代表取締役、橋本町長、倉持議長



第3期定住促進住宅の完成イメージ図

8/23

アルゼンチンオリンピック委員会が事前キャンプ施設を視察

町は、2020東京オリンピック・パラリンピックでアルゼンチン共和国のホストタウンに登録されており、事前キャンプ等を行う予定です。

今回、アルゼンチンオリンピック選手団団長のディエゴ・グスマン氏とオリンピック委員会のアルバロ・ロセ氏が来町し、町内で整備を進めているホッケー場やテニスコートの建設現場を視察しました。

また、役場を訪れ、橋本町長と意見交換を行いました。



写真左からロセ氏、橋本町長、グスマン氏、倉持議長



境古河IC周辺のホッケー場建設現場の視察風景

8/31

友好交流都市 福島県川俣町「川俣シャモまつり」に町職員が参加

アルゼンチン共和国との長年の交流をきっかけに、町と友好交流都市協定を締結（平成31年2月）している福島県川俣町において、福島県ブランド認証地鶏の「川俣シャモ」を使用した「第17回川俣シャモまつり in 川俣」が開催され、まつりの目玉イベントである「世界一長い川俣シャモの丸焼き」に、町から丸焼き戦士として5名の職員が参加しました。

当日は、106羽の川俣シャモ（全長63.6m）の丸焼きに挑戦し、見事に焼き上げました。



ステージに上がり挨拶する橋本町長



「世界一長い川俣シャモの丸焼き」に参加した町職員

夏休み期間中

中学生が町内保育園やさかい河岸レストラン「茶蔵」等で職場体験

夏休みを利用した校外学習の一環として、町内保育園や道の駅さかい等で職場体験学習が行われました。

境一中の生徒157名、境二中の生徒64名の合計221名の生徒が、実際に町内の様々な職場で働き、働くことの楽しさややりがい、厳しさなどを学びました。



おおぞら保育園での職場体験



道の駅さかい河岸レストラン「茶蔵」での職場体験

生徒の声

境一中2年 倉持 莉桜さん
私は子どもが大好きなので、保育士の仕事に興味がありました。今回、職場体験として実際におおぞら保育園で働いてみて、保育士さんの仕事の楽しい部分と大変な部分が両方分かり、良い経験になりました。

境二中2年 倉持 颯杜さん
道の駅さかいで働いてみて、なかなか仕事に慣れず、大変な部分もありましたが、とても勉強になりました。今回の職場体験を通して、仕事の大変さを学び、自分の将来の仕事に役立てたいと思いました。

8/25

小中学生が「2019世界柔道選手権」でアルゼンチン代表選手を応援！

2020東京オリンピックへ向け、ホストタウンである境町の子どもたちとアルゼンチン代表選手との交流を図るため、日本武道館で開催された「2019世界柔道選手権東京大会」を境一中生徒14名と、力善さかい道場の生徒4名が観戦し、東京オリンピックで金メダル獲得が期待される、アルゼンチン女子柔道48kg級のパウラ・パレット選手を応援しました。残念ながらパウラ選手は準々決勝で敗退し、メダルを逃しましたが、生徒たちからは、「会場の雰囲気や大会の迫りに驚いた」等の感想がありました。



試合中のパウラ選手（左）



アルゼンチンの旗を振って応援



お揃いのアルゼンチンのTシャツで世界柔道選手権を観戦しました